

序幕

子どもたち　ねえねえねえ、聴かせて聴かせて、お話聴かせて！

お婆さん　よしよし、わかったわかった、今日は何の話にしようかな、動物の出ってくる話かな

子どもたち　それがいい

お婆さん　では何の動物にするかな、メエーメエー

子どもたち　山羊の話ー！

お婆さん　ほう、よくわかったな

子どもたち　だってメエーメエーって言ったもーん

お婆さん　そうかそうか、賢い子どもらじゃな、カアーカアー

子どもたち　カラスも出てくるー！　かーかー

お婆さん　ヒヤツヒヤツヒヤツ…出てきた、出てきた（暗転）

第一幕　ぴびじゃーとガラサー／山羊とカラス

第一場　島の草原

クロス　むかしむかし、南の島に一頭のピピジャヤが住んでいました

大変立派な角を持つ、美しいオスのヤギでした

ある日のこと、一羽のガラサー（カラス）が空を飛んでいました

すると美しく見事なヤギの角が目にとまりました

鳥　カアーカアー、ヤギさんヤギさん、こんにちは、カアー

山羊　メエーメエー、カラスさんカラスさんこんにちは、何かご用ですか、メエー

鳥　カアーカアー、あなたの角は大変立派で美しいですね、カアー

山羊　メエーメエー、ありがとうございますどうカラスさん、メエー

鳥　カアーカアー、ヤギさんヤギさん、私はずっと前から、一度でいいからあなたの角に止まって

みたいと思っていたのですが、いかがでしょう、カアー？

山羊　メエーメエー、いいですともいいですとも、どうぞお止まりなさい、メエー

クロス　角に止まってみると、カラスはヤギの毛並みがたいへん美しいことに気がつきました

特に角と角の間は、毛が渦を巻いて珍しく、カラスの心を奪いました

鳥　カアーカアー、ヤギさんヤギさん、美しい毛並みですね

山羊　ありがとうございますどう、メエーメエー

鳥　それに、角と角は、毛が渦を巻いているのですね、めずらしー！

山羊　そんなに珍しいですか？

鳥　はい、とっても素敵です。で、ひとつお願いがあるのです

